

宇津木台 森遊会 実施報告

「第3回定例活動」

No.2016-03

実施日	2016年6月26日(日) 9:30~13:00	天候：晴れ	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：4名(男性3、女性1) 矢島、田原、北澤、*山中 インストラクター：金森 *ホームページで知って現地で飛び入り参加		

実施内容

活動6年目の第三回目。朝から猛暑の予感、木陰にいないと辛い陽射し。作業中も熱中症に注意する。

八王子市立石川中学校ボランティア部の皆さんが設置した巣箱を観察(掃除)する予定であったが、試験中とのことで部員の参加はなく、観察は次回以降とする。但し、2箇所だけ箱の中を観察し巣材を確認した。

生垣を剪定する。花が終わったこの時期に毎年行っており、生垣の形は良くなってきた。周囲が明るくなったためか蔓や雑草が共存、取り除きながら丁寧に剪定した。

滑走路(コンクリート広場)に移動して除伐で出た枝を下の斜面に処分する。そしてとうとう全ての撤去を終えた。さらに、枝が積まれていた下に大量に積もった腐葉土を除去するが、時間切れで終点近くの数メートルが残った。綺麗にした後は雨で洗い流され、日光による乾燥を待つ。腐葉土の中にはミミズが大量に暮らしていた。

小川の湧水を定置観察するカメラが設置されている。おそらく、野生動物の調査ではないか?

短い時間で盛りだくさんの内容だったが、精鋭5名による手際良い作業で達成感は抜群であった。

次回は、滑走路の土を撤去、その奥の笹狩り、笹に埋もれた歩道を修復、椎茸のホダギを救出、中学生の参加によっては巣箱を観察(掃除)する。



巣箱を2箇所観察、巣材を確認しただけで次回以降中学生が参加した際に取り出すことにした



明るくなった林内にはショウマ



花が終わったので生垣の剪定



蔓や1年草を取り除いてゆく



膝下で切り揃える



伐った枝は万能袋で堆肥場へ運ぶ



前回残った若干の枝を片づける



とうとう滑走路に何もなくなった



まだ土が残っている



野生動物調査だろうか水辺にカメラ

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋は発生なし。